

作成月：2025年3月

Windows 版 COBOL2002 と Linux 版 COBOL2002 の機能仕様差

(1)規格

機能	製品種別		
	Windows 版 COBOL2002 04-70 (32ビット版)	Windows 版 COBOL2002 04-70 (64ビット版)	Linux 版 COBOL2002 04-70 (64ビット版)
基本機能	○	○	○
順編成ファイル	○	○	○
相対編成ファイル	○	○	○
索引編成ファイル	○	○	○
整列併合	○	○	○
プログラム間連絡	○	○	○
組み込み関数	○	○	○
オブジェクト指向	○	○	○
共通例外処理	○	○	○
再帰呼び出し	○	○	○
利用者定義関数	○	○	○
局所場所節 (LOCAL-STORAGE SECTION)	○	○	○
原始文操作	○	○	○
自由形式正書法	○	○	○
TYPEDEF 句と SAME AS 句	○	○	○
翻訳指令	○	○	○
区分化*	○	○	○

(凡例)

○：サポートしている

注※

覚え書きとしてサポートしている。

(2)X Open

機能		製品種別		
		Windows 版 COBOL2002 04-70 (32ビット版)	Windows 版 COBOL2002 04-70 (64ビット版)	Linux 版 COBOL2002 04-70 (64ビット版)
テキスト編成ファイル		○	○	○
ファイル共有 (ファイルシェア)	順編成ファイル	○	○	○
	相対編成ファイル	○	○	○
	ISAM による索引編成ファイル	○	○	○
	テキスト編成ファイル	×	×	○
	CSV 編成ファイル	×	×	×
	HiRDB による索引編成ファイル	×	×	×
	Btrieve による索引編成ファイル	○	×	—
コマンド行および環境変数へのアクセス		○	○	○
画面節 (SCREEN SECTION) による画面操作		○	○	×
C 言語インタフェース		○	○	○
インターナショナルリゼーション		—	—	○

(凡例)

- ：サポートしている
- ×：サポートしていない
- ：該当しない

(3) 拡張機能

機能	製品種別		
	Windows 版 COBOL2002 04-70 (32ビット版)	Windows 版 COBOL2002 04-70 (64ビット版)	Linux 版 COBOL2002 04-70 (64ビット版)
日本語	○	○	○
ブール演算	○	○	○
アドレス操作	○	○	○
1バイト2進およびCOMP-X項目	○	○	○
浮動小数点項目	○	○	○
ISAMによる索引編成ファイル機能の拡張(合成キー, 逆順読み)	○	○	○
CSV編成ファイル	○	○	○
HiRDBによる索引編成ファイル	○	○	●
Btrieveによる索引編成ファイル	○	×	—
リモートファイルアクセス	○	×	×
ラージファイル入出力	順編成ファイル	○	○
	相対編成ファイル	×	×
	ISAMによる索引編成ファイル	○	×
	テキスト編成ファイル	○	○
	CSV編成ファイル	○	○
	HiRDBによる索引編成ファイル	×	×
	Btrieveによる索引編成ファイル	×	×
COBOL入出力サービスルーチン	○	○	○
バイトストリーム入出力サービスルーチン	○	○	○
ファイル入出力拡張機能	ファイルサイズがレコード長の整数倍でない固定長形式の順ファイル入出力	—	—
	ファイルバッファサイズ指定機能	—	—
画面節(WINDOW SECTION)による画面操作	画面節(WINDOW SECTION)	○	○
	JCPOPUPサービスルーチン	○	○

機能		製品種別		
		Windows 版 COBOL2002 04-70 (32ビット版)	Windows 版 COBOL2002 04-70 (64ビット版)	Linux 版 COBOL2002 04-70 (64ビット版)
通信節による画面操作 (XMAP3)		○	○	×
COPY 文の接頭辞/接尾辞		○	○	○
プリンタへのアクセス	XMAP3 による印刷	○	×	×
	GDI モード印刷	○	○	-
	ESC/P モード印刷	○	○	-
ファイルのディスク 書き込み保証 (書き込み時)	順編成ファイル	○	○	○
	相対編成ファイル	○	○	○
	ISAM による索引編成ファイル	○	○	○
	テキスト編成ファイル	×	×	×
	CSV 編成ファイル	×	×	×
	HiRDB による索引編成ファイル	×	×	×
	Btrieve による索引編成ファイル	×	×	-
ファイルのディスク 書き込み保証 (クローズ時)	順編成ファイル	○	○	○
	相対編成ファイル	○	○	○
	ISAM による索引編成ファイル	×	×	○
	テキスト編成ファイル	×	×	○
	CSV 編成ファイル	○	○	○
	HiRDB による索引編成ファイル	×	×	×
	Btrieve による索引編成ファイル	×	×	-
報告書作成機能		○	○	○
MIOS7 COBOL85 との互換機能		○	△	×
イベントログファイル/syslog ファイル出力機能		○	○	×※
データコミュニケーション機能		○	○	○
データベース操作機能 (ODBC インタフェース)		○	○	○
XDM によるデータベースシミュレーション機能	構造型データベース (XDM/SD)	○	○	○
	リレーショナルデータベース (XDM/RD)	○	○	○

機能		製品種別		
		Windows 版 COBOL2002 04-70 (32ビット版)	Windows 版 COBOL2002 04-70 (64ビット版)	Linux 版 COBOL2002 04-70 (64ビット版)
OLE2 オートメーション機能	クライアント機能	○	○	—
	サーバ機能	—	—	—
CGI プログラム作成支援機能		—	—	×
マルチスレッド環境	作成と実行	○	○	○
	デバッグ	○	○	△
MSMQ アクセス機能		○	○	—
エンディアン切り替え		○	○	○
Unicode 機能		○	○	○
数字項目のけた拡張機能		×	○	○
動的長基本項目機能		○	○	○
定数長拡張機能	英数字定数長の拡張	○	○	○
Java プログラム呼び出し機能		○	○	—

(凡例)

○：サポートしている

● 「シフト JIS 機能」 使用時でだけサポートしている

https://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/soft1/cobol/product/function/function_char.html

×：サポートしていない

△：サポートしている機能であるが、使える機能に一部制限がある

—：該当しない

注※

限定公開で syslog ファイル出力機能をサポート済

(4)デバッグ機能

機能		製品種別		
		Windows 版 COBOL2002 04-70 (32ビット版)	Windows 版 COBOL2002 04-70 (64ビット版)	Linux 版 COBOL2002 04-70 (64ビット版)
実行時デバッグ機能		○	○	○
テストデバッグ機能	GUI モード	○	○	×
	バッチモード	○	○	○
	ラインモード	-	-	○
カバレッジ機能	GUI モード	○	○	×
	バッチモード	○	○	○

(凡例)

- ：サポートしている
- ×：サポートしていない
- ：該当しない

(5)連携機能

機能		製品種別		
		Windows 版 COBOL2002 04-70 (32ビット版)	Windows 版 COBOL2002 04-70 (64ビット版)	Linux 版 COBOL2002 04-70 (64ビット版)
XML 連携機能		○	○	○
Cosminexus 連携機能		○	○	○

(凡例)

- ：サポートしている
- ×：サポートしていない

(6)開発／実行環境

機能	製品種別		
	Windows 版 COBOL2002 04-70 (32ビット版)	Windows 版 COBOL2002 04-70 (64ビット版)	Linux 版 COBOL2002 04-70 (64ビット版)
開発マネージャ	○	○	－
実行支援	○	○	－
ODBC レコード定義生成	○	○	－
ファイル／レコード定義	○	○	－
画面定義	○	○	－
COBOL エディタ	○	○	－
コマンドプロンプト	○	○	－

(凡例)

- ：サポートしている
- －：該当しない

なお、Windows 版 COBOL2002 Developer Professional では、COBOL プログラム全体の「見える化」を支援する資産分析機能をサポートしています。

詳細は以下を参照してください。

https://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/soft1/cobol/product/function/function_dev01.html